

J ふるさと上越ネットワーク ネット

7月の総会ではたくさんの方々に
ご出席いただきありがとうございました。
会員の皆様から情報をいただきながら
より良いネットワークになるよう
スタッフもがんばっています。
皆様の声をどしどしお寄せください。
お待ちしております！

実りの秋、
今年もおいしい
お米ができました



特集 1~4

ふるさとを 味わう

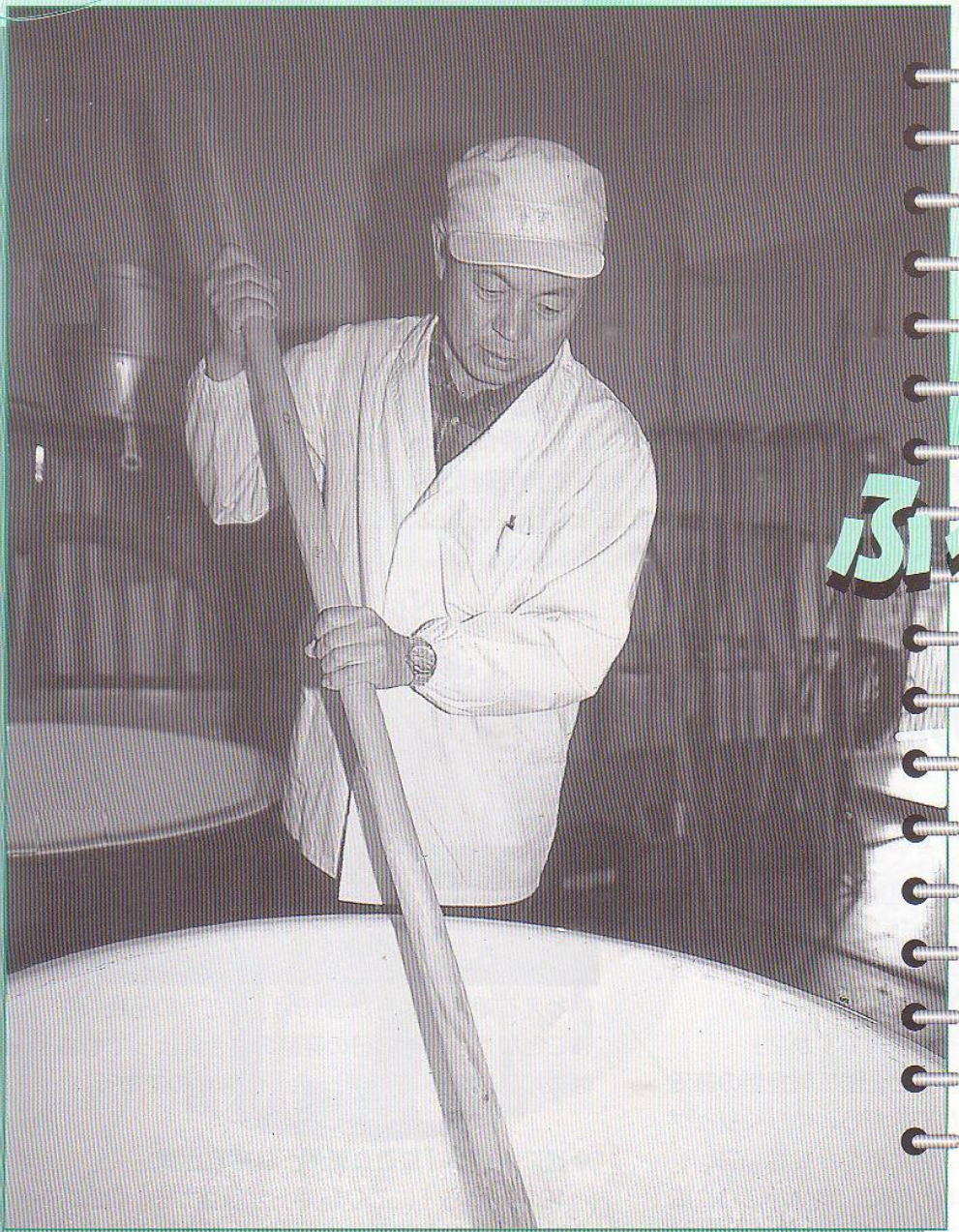
なつかしい故郷の味を覚えてい
ますか？ 今も昔も変わることの
ない伝統の味に旬の情報を交えて
お届けする、題して「上越味わい
紀行」。皆さんもふるさとの「味
な旅」に出かけてみませんか？

Jネット活動報告 5~7

お知らせ 8

★じょうえつNOW

★Jネットからのお知らせ



写真：日本酒の仕込み（糴入れ）をする
上越市内の酒蔵の杜氏

●発行／ふるさと上越ネットワーク

編集：ふるさと上越ネットワーク事務局（上越市東京事務所内）

編集責任者：事務局長 三浦 元二（上越市東京事務所長）

NO. **3** 1998.11.25

実り豊かなふるさとの秋 上越の“旬の味”を訪ねて…。

●特集●
ふるさを味わう

上越の銘酒 この時期「生酒」が旬

◆米どころ上越、4つの酒蔵

上越市には、「スキー正宗」の(株)武蔵野酒造、「能鷹」の田中酒造(株)、「妙高山」の妙高酒造(株)、「越の若竹」の上越酒造(株)の4つの酒蔵があり、いずれ劣らぬ深い味わいを楽しませてくれる。日本酒の旬の味を訪ねて、武蔵野酒造さんへおじゃましました。

◆冬期限定は「しぼりたて生酒」と「にごり酒」

「昔は夏を過ぎてから蔵から出したものが旨いと言われていましたが、最近は嗜好が変わってフレッシュなものが好まれ



杜氏の藤井健治さん
今年の春、秋の観評会で
連続入賞した。

るようになりましたから、“旬”はやはり生酒が出るこの時期ですね」と武蔵野酒造専務の亀山秀雄さん。本来、酒づくりの時には、造った時とビン詰め時の2回にわたって殺菌をする。この2回の殺菌を行わないのが生酒、同じ生酒と言われるものでもビン詰め時のみ殺菌を行う酒は生貯蔵酒と言う。殺菌を行っていないから、できるだけいただくのがベスト。炭酸ガスがわずかに残り、まことにフレッシュな味わいだ。

越後の地酒は淡麗辛口でサラリとした飲みごたえが好評だが、上越の蔵では各社それぞれ“深い味わいのある酒”も生み出している。

日本の本格的ワイン発祥の地

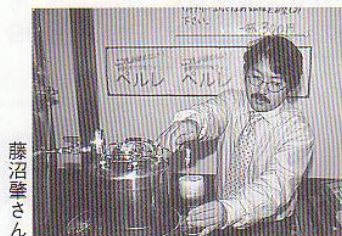
岩の原ワイン 極上の旬の味わい方

◆ここでしか飲めない「ペルレ」とは？

「秋と言えばぶどう、さぞかしワインも旨だろう」とやって来ました岩の原葡萄園。ワインショップに入ってまず目についたのが「ここでしか飲めない！ペルレ」というメッセージボード。「赤ちゃんワイン」と銘打ってある。

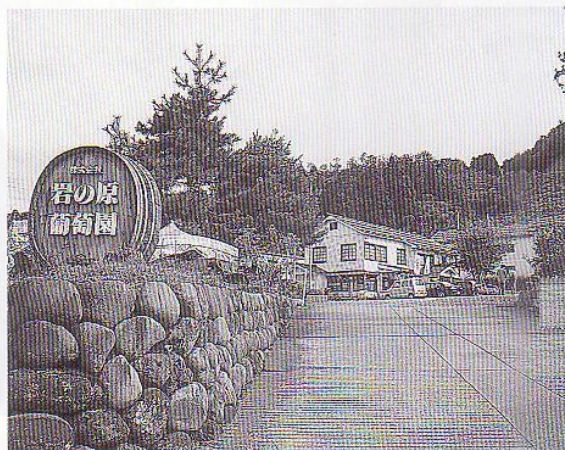
「これは、どんなワインなんですか？」

「まあ、飲んでみて…」と企画広報担当の藤沼肇さん。ほどよく泡をたてながら、ゆっくりとグラスにワインをそそぐ。何と鮮やかな赤。フレッシュなぶどうの香りと味わいに、爽やかに口に広がる炭酸、そして、なるほど「赤ちゃんワイン」らしくちょっぴリアルアルコールが利いている。「ペ



藤沼肇さん

ルレ」は酵母が生きている発酵途中のワインなのだ。この日のペルレは「マスカットベリーA」。ペルレが



味わえる期間は8月から10月。ぶどうの品種もさることながら、その日の発酵の具合によっても味は微妙に異なる。「一期一会」の味なのである。

◆通に人気の「にごり新酒」は限定出荷

10月末から「にごり新酒」が登場する。「にごり酒」とはろ過していないもの。通常のワインに比べ、こしてない分にごってはいいるが、ぶどうの旨みをそのまま生かしているため甘味もあり、まさにフレッシュ&フルーティー！

こんなプラボーなワインなのだが、6〜7千本しか出荷しないため1ヶ月ほどで店頭から姿を消す。しかも、このところのワインブーム。「にごり」は「幻のワイン」なのだ。

上越産ブランド米 その名も「雁木通り」

◆上越産コシヒカリ100%、ピカピカの新米

9月、くびき野の大地は黄金色一色になる。妙高山を始めとした山々からの雪解け水に育まれたコシヒカリが実りの秋を迎えた。

「今年の収穫はどうだったかな？」ＪＡ上越営農部米穀農産課の吉越春男さんを尋ねてみた。

「今年は大雨や台風など天候に悩まされましたが、作付けが増えたのでコシヒカリは十分ありますよ。新米は9月19日から発売しています。上越産米100%の「雁木通り」をどうぞ」



吉越春男さん

平成8年秋から売り出したＪＡ上越のプライベートブランド米「雁木通り」。雁木のイラストがふるさと上越を偲ばせる。お土産や贈答品として年々浸透してきた。日本穀物検定協会で「特Ａ」にランクされ、上越産米は名実とも良質米産地として評価された。あとはＰＲあるのみというところか。

「新米のおいしい食べ方は？」と聞くと、

「早いうちに食べること。コシヒカリは他の米と違って、1年たっても味が変わらないといわれるほど、やっぱり早いほうがいいよ」とのこと。



「雁木通り」のお求めは上越市内のＡコープ、またはＪＡ上越米センター（TEL.0255-24-2962）まで。Ｊネットの皆さん、新米食べました？遠く離れていても新米の時期をお忘れなく！



「謙信汁」「のっぺい汁」「スキー汁」

◆3年前「謙信公祭」でふるまわれた「謙信汁」

今年7月のＪネット総会後の懇親会で食べた「謙信汁」。あれは、おいしかった。まさに上越流「のっぺい汁」だ。究極の一晩探しに上越市商業観光課を訪れた。物産係長の小山一郎さんが「ちょっとまてよ。確か3年前の謙信公祭でも謙信汁があったな」とあちこちに電話で問い合わせる。



小山一郎さん

春日山でとれたもうそう竹に肉、玉葱、人参等を入れた味噌仕立ての汁だったらしい。

「ではスキー汁は？」

「これはレルヒ祭にふるまわれたもの。こちらは明治45年につくられたと記されている。うさぎ（後に豚肉）、大根、人参、甘薯（薩摩薯、その頃なかなか手に入らずと記されていた）、こんにゃく、椎茸、豆腐、葱、ササガキごぼうを入れた味噌汁だって」

うーん、上越流はどれもうまそうだ！

Ｊネット会員にお聞きしました 上越の味といえば…



★のっぺい汁
小菅 勇さん



★なす・ぶどう酒
宮越晃一さん

★翁飴

小林昭夫さん



★つけもの
羽深邦男さん



大山忠一さん

上越は食べ物でいい素材を持っていますが、加工技術が遅れているため深みが足りないように思います。どんどん研究を進めて欲しいですね。毎日の食卓に使う米と味噌は、上越産を今でも利用しています。



観光物産センターにおじゃましました

上越の**味**といえば…

上越の物産が 一堂に集まった！

◆人気の味なおみやげ品を教えて！

ふるさとへの帰省客、観光客がまず立ち寄っていくところがある。上越市の物産のほとんどを取り揃えたショップのほか、観光情報を提供するふるさとコーナーがある。

平成9年度の利用客は、ふるさとコーナー95,120人、物産センター264,550人。隣接するリージョンプラザ上越に大型バスの駐車場も確保し、平成9年度は144台の団体客がおとずれた。

運営は(有)上越商業サービス公社が行い、市から建物を借りて名産・特産品を一堂に取りそろえ販売している。

「ところで、一番の売れ筋は？」と支配人の佐々木喜作さんに聞いてみた。

「そうですね。どれも良くでてますよ。上越は何でもおいしいですよ」

「さすが、商売上手ですねえ。でも1つだけ教えてくださいよ。じゃ、こうしましょ。支配人の一番好きなもの！」

「やっぱり、コレでしょう…」と地酒の前でポーズ。

「おおっ、やはり、そうきましたね」

「じゃ、女性の店員さんはどれ？」

「1つを選ぶのは難しいけど、コレ」と米菓を差し出した。

やっぱり上越は、米どころなんだな。



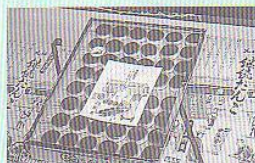
● 人気商品ベスト10 ●



●ウツギ



●酒



●継続団子



●ワイン



●米菓



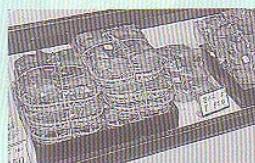
●かまぼこ



●出陣もち



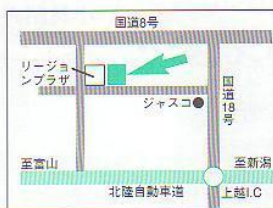
●ふ



●笹だんご



●味噌漬け



上越観光物産センター

TEL.0255-45-0123

FAX.0255-45-1113

特集「上越を味わう」は、いかがでしたか？ まだまだ上越にはたくさんの「味」があります。Jネットの皆さんの中には離れているからこそ、わかる「味の良さ」もあることでしょう。ぜひ、皆さんの「上越の味」も教えてください。

J

ふるさと上越ネットワーク

ネット

活動報告

平成10年度Jネット総会開催

平成10年7月31日、設立より1年を向かえJネット総会がアルカディア市ヶ谷（東京都千代田区九段北）において、会員・役員約100名の皆さんの参加で行われました。



▲総会の様子



▲懇親会の様子



▲会場には「ふるさと図書コーナー」も設置され、話題を呼びました。

総会ではまず佐久間会長より「1年がたち現在会員は964名。たくさんの上越市出身者がふるさとを思っている。東京でも一人一人が上越を知っていただく努力をしたい」と挨拶しました。続いて来賓として参加のJネット顧問・宮越市長より「上越市に縁のあった人たちが誇れる、また、故郷に帰る度に大きく成長したと言われる上越市にしていきたい」と祝辞を述べました。

続いて、平成9年度事業報告と10年度の予算などを協議。フリートークのコーナーでは、会員からJネットや上越市に対してのさまざまな意見が活発に発言されました。総会終了後は懇親会が行われ、謙信汁（のっぺい汁）やなつかしい味とともになごやかなひとときを過ごしました。

平成10年度 事業内容

■広報事業

1. 新規会員募集
2. 「広報じょうえつ」の発送（毎月15日）
※このほか上越市行事表や物産展等のチラシを随時同封しています。
3. 「ふるさとカレンダー」の発送
4. Jネット会報の発行
（本紙・7月、11月、3月の年3回発行）
5. Jネットだよりの発行（毎月）

■交流事業等

第2回 ふるさと交流会（観桜会）
（平成11年4月開催予定）

■総会開催事業

1. 平成10年度総会及び懇親会
平成10年7月31日（金）に
アルカディア市ヶ谷で実施
2. 理事会の開催
年2回

フリートークでのご意見・ご質問から…

（会員の意見）

昔からの町並「雁木」はすばらしい。市で保存を考えているか。

雁木は個人の所有と一緒にしているので難しい面もありますが、現在、東本町がきれいに残っているので、本町6、7丁目も再開発できないか検討中です。

会員名簿がほしいが…

名簿については、「ぜひ公開してほしい」「慎重にしてほしい」などさまざまです。現段階では非公開ですがもう一度運営委員会ですべてみます。
（※本紙8P参照）

家族が東京にいて上越の家には誰もいない。雁木もあるので生かしてもらえれば…

長崎屋の一部を改装して、市が雁木通り美術館をつかった例もあるので、検討したいと思います。

総会にて 突撃インタビュー

総会后、懇親会の会場で会員の皆さんから、「Jネットに希望すること」や「ふるさとへの思い」をお聞きました。取材にご協力いただいた皆さんありがとうございました。

越後高田雪の会のみなさん



松戸一馬さん（高飾区）

秦野哲四郎さん（越谷市）

黒田正義さん（保谷市）

笹谷定男さん（相模原市）



小野塚いい子さん
（練馬区）

今でも上越の話をすると、涙が出そうな程なつかしい景色が浮かびます。岩の原葡萄園まで歩いたものです。

先日3つの郷人会により「高田ござ」の芝居をやり550人集まりました。また、それぞれの会で会員証を持っているのでJネットでも利用できないかと思います。たくさんある郷人会を東京事務所（Jネット）でまとめているだけでうれしいですね。

建入ひとみさん（目黒区）

現在コンサルタント業をしていて、ベンチャー企業の育成塾も開講しています。地元の上越市がどう活性化していくのか、また、帰るのが楽しいと思える上越市を望みます。

Jネットではぜひエコツアー等を企画し、アグリツーリズムで、上越にもう家がない人でも上越を楽しめることをしていただきたいと思います。



柿木吾郎さん（横浜市）



創立以来15年間上越でお世話になりました。当時は社交ダンススクールにも通いました。在任中は宮越市長から名誉市民賞を受けたこともあり、今でも上越への思いは深いものがありますね。Jネットでは、上越出身者だけでなく、上教大の卒業生にも積極的に参加を呼びかけ、ネットの裾野を広げてほしいですね。



高橋美恵子さん（世田谷区）

上教大を卒業し、現在は教職についています。上越は生まれた所ではないのですが、多感な時期の学生生活を過ごしたことで私にとっては故郷です。野菜の無人販売がなつかしいですね。



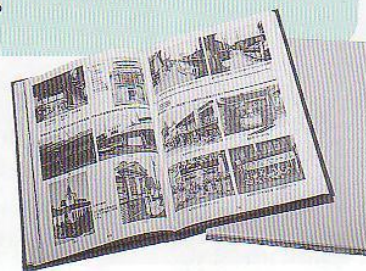
竹田ミヨシさん（横浜市）
ご主人の竹田喜幸と一緒に

去年行われたJネット主催のレルヒ祭に参加しました。上越へは新幹線を使って時々帰っています。高田郵便局のゆうパックでも2ヶ月に1回、お米や味噌、そばなどを送ってもらっています。

小森一朗さん（葛飾区）



今昔物語を本町の有志のみなさんと作りました。上越への思いは人一倍あります。



布施毅夫さん（大宮市）

関東八千浦会は黒井にある八千浦村の小学校出身の会で、11年前にでき、現在は200名の会員がいます。会は継続が力なのでJネットも頑張してほしいと思います。

森本浩文さん（大田区）



今はインターネットの時代です。ホテルではブライダルフェアもインターネットの時代なのです。Jネットでもホームページの開設等により、常に最新の情報を用意し、アピールすることにより会員の増員もはかれると思います。



金子正樹さん

北川輝樹さん

竹原邦彦さん

坂詰真一さん

Jネットはもっと若い人が参加できる会になればいいなあと思います。単なる県人会にならないよう、いろいろな企画で情報交換をしていってほしいですね。

じょうえつ NOW

◆トピックス

上越地域12市町村 3,000人のボランティアが支えた 「えちごくびき野100kmマラソン」



上越地域12市町村を駆け抜ける「第2回えちごくびき野100kmマラソン」が10月17日に行われ、44都道府県1200人余のランナーがゴールをめざしました。この大会は上越地域広域行政組合が事務局となり、地域住民を主体とした実行委員会で行われているもので、一昨年に続いて2回目の開催となりました。上越市をスタートし東頸城、中頸城の山間部から海辺を抜けて中頸城にゴールするこの100kmのコースは、高低差300mのアップダウンがある全国屈指のハードなコースです。台風10号による雨脚が強まる中、3,000人のボランティアスタッフが選手を激励し、872人が完走。住民とともに感動を分かち合いました。

◆イベント情報 今回は広域市町村の情報も掲載！

12月	1日～3月31日 そば道場（牧村）
	13日 きよしこの夜の里コンサート（大島村）
2月	上旬 レルヒ祭 （上越市） 日本にスキーの技術を伝えたオーストリアのレルヒ少佐をしのび、日本のスキー発祥の地「金谷山」で開催。
	14日 ゆきまつり（牧村）
	21日 雪上カーニバル（浦川原村）
	下旬 安塚スノーフェスティバル（安塚町）
	下旬 NST川鉄カップGS大会（安塚町）
	未定 雪国行って見体験（牧村）
	26日～28日 全国三和わんぱく親善大使雪国交流会（三和村）

上越市の情報はインターネットで！
ホームページアドレス <http://www.city.joetsu.niigata.jp/>



「Jネット」からのお知らせ

■会員名簿の公開について

会員名簿の公開については、すでに「Jネットだより」でもお知らせしましたとおり、公開の方向で作業をすすめています。

なお、会員名簿は有料頒布とし、非公開措置を希望する方は、名簿への記載をしない取り扱いで考えています。

つきましては、準備ができしだい、皆さまへ連絡はがきを送いたしますので、お手数ですが、よろしくご協力のほどお願いいたします。

■特別賛助会員 募っています！

会の趣旨に賛同する団体、法人、企業の会員制度である「特別賛助会員」を募集しています。

- 年会費／5万円
- 特典／Jネットの定期発送物に、宣伝・PR物の封入が可能です。（ただし手数料1万円）

詳しくは事務局まで

■会員証の発行について

上越市の公共施設割引の特典がついた、会員証の発行を予定しています。どうぞ、お楽しみに。

●あとがき 今回のJネット会報は、「ふるさとの味」を特集してみました。実りの秋、食欲の秋。収穫の喜びとそれを味わう喜び。秋の一夜、飲むもよし、食すもよし。皆さんの食卓にもふるさとの料理を並べて、懐かしさと暖かい彩りを添えてみませんか。

ふるさと上越ネットワーク事務局

上越市東京事務所

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-3（市政会館5階）
TEL. 03-3503-1521 FAX. 03-3503-1522
E-mail: j-net@ml.city.joetsu.niigata.jp

上越市企画政策部まちづくり政策課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3
TEL. 0255-26-5111 FAX. 0255-26-6111